

今、思うこと

中村屋店主 中村昭博

70代を目前としていた頃、突然倒れた。1か月近く治療入院していたが、少し後遺症がある。脳梗塞。ひと昔前まで「人生50年」と言われていたので諦めの気持ちもあったが、実際、普段通りの仕事のできたので、引退はとり止めにした。まあ、余生は10年ぐらいでよいと思っている。

2020年は新型コロナの年。商売は散々である。経済活動を停止してしまったので、これは第二次大戦以来の大事件で、世界中で都市単位の封鎖と消毒活動により、あっという間にマスク社会になってしまった。人心の方も大いに乱れ、交通事故と同様の自己責任論、自然災害における死生観までまことしやかに語られている。

日本では厚労省が提唱したマスク装着がすっかり定着した。あくまで強制でも義務でもない。今回のウイルスを接触感染が主体であることから、個人的にはまず手袋であり、ハンカチの有効性を主張したい。マスクにはどう見ても覆面という一面の方が強い。昨年の香港デモが示す通り何より匿名性が高い。要するに内向的でニートの性格には都合の良い道具であり、戦闘モードになり易い。ついこの前まで、マスク・黒メガネ・帽子的3点セットは強盗犯人の代名詞ではなかったのか。それが今では当たり前の光景になってしまった。

この半世紀、都会化の波に乗って今に至った現代人の多くは、体力的に脆弱傾向であり、大小の病が常態化しつつある。こんな場合、いわば慈愛に欠けた為政者の言動に多くの人々が惑わされるのは自明の理である。人は本来、額に汗して働くことを尊ぶべきである。パソコンもスマホもあくまで脇役としての道具であることを忘れてはならない。因みに日本での交通事故死はこの半年で1350人である。今回のコロナ関係の死者より多いのだ。人類はまだ交通戦争すら克服していない。